

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. 1103

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学		科目開講 キャンパス	本学	
2. 科 目 名	正式科目名	中・四国地域経済・金融事情			クラス名
	副題				配当年次
				受入学年	3 年以上
	旧科目名				
	学問分野	番号	23	名称	経済学
サテライトで開講される科目の科目群		A 群 B 群			
3. 担当教員名	重本 洋一・経済・教授 / 楊 義申・経済・教授 / 平下 義記・経済・助教				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期	
6. 開講期間	2018 年 4 月 11 日 (水) ~ 2018 年 7 月 25 日 (水)				
曜日・時間	水曜日 14:45 ~ 16:15				
個別開講日	1 回目 4/11	2 回目 4/18	3 回目 4/25	4 回目 5/2	5 回目 5/9
	7 回目 5/23	8 回目 6/6	9 回目 6/13	10 回目 6/20	11 回目 6/27
	13 回目 7/11	14 回目 7/18	15 回目 7/25	16 回目 /	試験日 /
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数 (総授業定員)	制限なし (人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし	
10. 科目内容・ 授業計画	1. 授業内容 この講義も今年度で 17 年目となります。この講義では、中・四国地域における産業構造の変化、特に金融グローバル化の流れの中で加速されている金融市場の多様化等が中心テーマです。実際の講義では、現実経済の諸事情に明るく、また中・四国の産業界の第一線でご活躍の先生方が講師を務めます。したがって、金融業界を取り巻く厳しい環境の下で、過去の成功体験と決別するような経営革新への取り組みの一端にも触れることができるかと思えます。この講義では毎回出席カードに授業の内容や感想を書いてもらい、それに対して教員から感想・解説を随時行います。 2. 授業計画 第 1 回 「ガイダンス、経済・金融の基礎知識」 (広島経済大学 重本洋一) 第 2 回 「中国地域経済の概要と課題」 (公益財団法人 中国地域創造研究センター 総合研究リーダー 小早川隆 先生) 第 3 回 「中国地域の製造業を中心とする産業発展史」 (公益財団法人 中国地域創造研究センター 総合研究リーダー 小早川隆 先生) 第 4 回 「中国地域のエネルギー・電力産業の動向」 (中国電力株式会社 地域共創本部 部長 (地域総括) 清王秀敏 先生) 第 5 回 「地域金融機関と監督行政」 (財務省 中国財務局 金融監督官 藤井和啓 先生) 第 6 回 「金融政策とお金のはなし」 (日本銀行 広島支店長 松野知之 先生) 第 7 回 「日本政策投資銀行の役割」 (日本政策投資銀行 中国支店長 吉田幹洋 先生) 第 8 回 「食と農のはなし」 (広島県農業協同組合中央会 専務理事 坂本和博氏) 第 9 回 「生活保障と生命保険」 (日本生命保険相互会社 大阪岸和田支店 法人職域部長 中村聡 先生) 第 10 回 「地方銀行の歴史と中国地方における役割」 (財団法人ひろぎん経済研究所 常務理事 岡崎裕一 先生) 第 11 回 「損害保険の仕組みと働き」 (東京海上日動火災保険中国損害サービス部部长 八杉聡 先生) 第 12 回 「地域金融における信用組合の役割」 (広島市信用組合理事長 山本明弘 先生) 第 13 回 「信用金庫の特色と役割」 (広島信用金庫 専務理事 曾川祐治 先生) 第 14 回 「中国地域経済のグローバル化」 (ジェトロ広島貿易情報センター所長 宮原大蔵 先生) 第 15 回 「直接金融と証券会社の役割」 (ひろぎん証券株式会社 営業統括部 参与 紙永誠 先生)				

11. 試験・評価方法	定期試験は実施しません。 成績はレポート、毎回の感想、出席、授業態度などが評価の軸となりますが、以下のことに留意してください。 ①レポート：40%、小テスト（毎回の感想と出席を兼ねる）：30%、授業への取り組み・授業態度：30% ②出席点の取扱いについては、出席回数が11回以上からプラス点が加算されます。 但し、授業への取り組み、授業態度も十分考慮しますので、当然、マイナス点となることもありえます。 なお、 ①受講中のケイタイ、スマホ操作・私語・飲食・着帽・居眠りは厳禁です。守れない人には減点をする場合があります。 ②レポート、小テスト（出席点）、授業への取り組みなどの合計が100点を超える場合、評価は100点とします。		
12. 別途負担費用			
13. その他特記事項	講師を務められるのは、中国地域産業界の第1線でご活躍の先生方です。限られた時間を工面されての貴重な講義です。何より大切なのは、襟を正しての真摯な受講です。改めて注意するまでもなく、理由の無い遅刻、受講中の携帯・スマホの操作、居眠り、不必要な私語、飲食、着帽は厳禁です。特に、姿勢を崩しての居眠りは、講師の先生方に対して非常に失礼です、厳に慎んでください。		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否